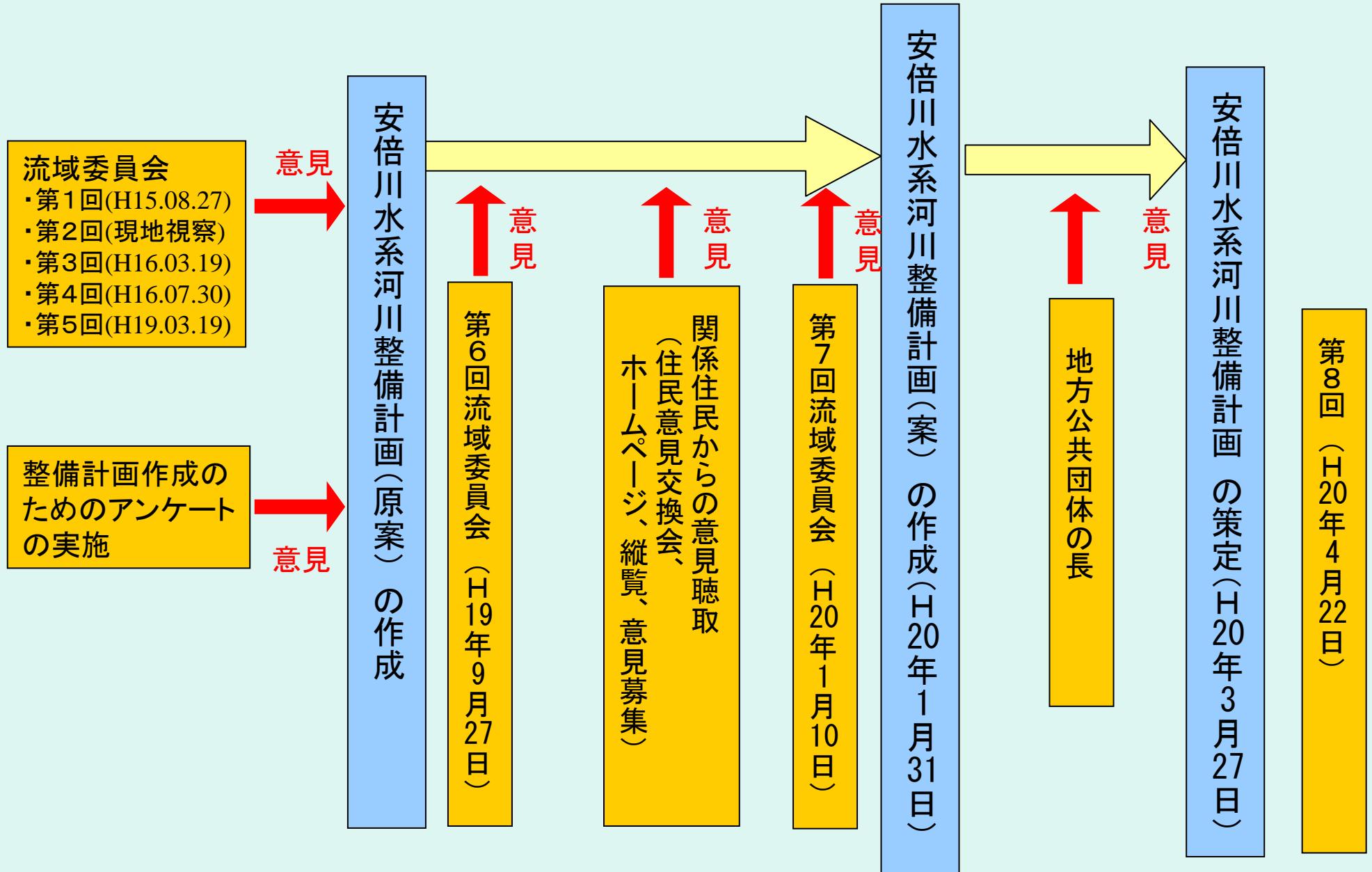


# 安倍川水系河川整備計画策定の報告

# 安倍川水系河川整備計画策定までの流れ



# 安倍川水系河川整備計画策定までの流れ

## ■ 河川法第16条の2(河川整備計画)

### 第3項

河川管理者は、河川整備計画の案を作成しようとする場合において必要があると認めるときは、河川に関して学識 経験を有する者の意見を聞かなければならない。

### 第4項

河川管理者は、前項に規定する場合において必要があると認めるときは、公聴会の開催等関係住民の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならない。

### 第5項

河川管理者は、河川整備計画を定めようとするときは、あらかじめ、政令で定めるところにより、関係都道府県知事又は関係市町村長の意見を聴かなければならない。

# 河川整備計画(案)に関する県知事意見聴取等

## ■ 静岡県知事からの意見聴取

平成20年2月29日付で「意見無し」と回答されました。

## ■ 関係省庁との協議

同じ時期に省庁間協議を行い下記の省庁より回答されました。

- ・環境省 平成20年2月21日 「意見はございません」
- ・関東経済産業局 平成20年2月21日 「静清工業用水道事業を実施しているため、当該事業の運営について支障の無きようご留意ください。」
- ・関東農政局 平成20年3月17日 「異存ありません」

# 整備計画の概要

## 安倍川水系 河川整備計画の概要



国土交通省 静岡河川事務所

### 安倍川の概要

#### 安倍川の概要

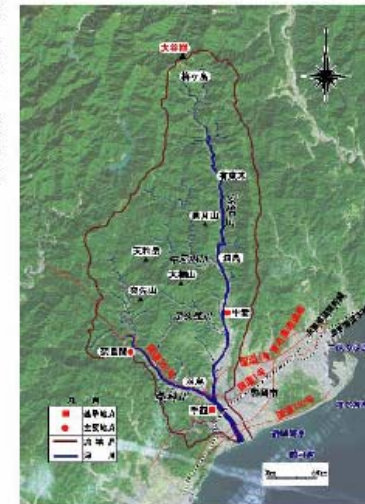
安倍川は、その源を静岡県静岡市と山梨県南巨摩郡早川町の県境に位置する大谷嶮(標高2,000m)に発し、山間部を流れて中河内川、足久保川等の支川を合わせながら南流し、静岡平野に出てから糺科川を合わせて静岡市街地を流れる一級河川です。

下流には我が国の大動脈である国道1号、JF東海道新幹線などの交通網や政治、経済、教育、文化、情報など中核管理機能が集積しています。また、平成17年4月より静岡市は政令指定都市となっています。

川の長さ 幹川流路延長 <b>51km</b>	流域の広さ 流域面積 <b>567km<sup>2</sup></b>
-------------------------------	---



上流から安倍川、静岡市の街地を臨む



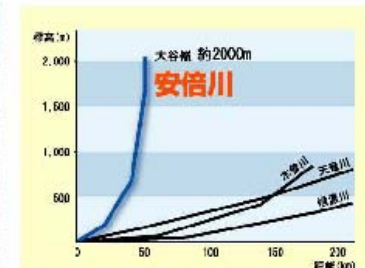
#### 急流土砂河川の現状

日本3大崩れのひとつ「大谷崩れ」に代表される崩壊地等から膨大な土砂が生産され、下流の河川に流出してきました。また日本屈指の急流河川です。

大谷崩れは約300年前に大規模崩壊地になったと思われ、これまでの崩壊土砂量は約1億2000万m<sup>3</sup>(ナゴヤドーム約96杯分)と推定されています。



大谷崩れ(山17-11)



安倍川と中流の主要河川の縦断図



# 整備計画の概要

## 河川整備計画の目標と対象期間等

国による安倍川の河川事業は、昭和7年に始まり、堤防、護岸、水門、樋門などの整備を進め、水害から地域を守る安全度の向上を図ってきましたが、静岡市内を貫流するという安倍川の重要度にふさわしい安全度までには、まだ、到達していません。

今後も、河川事業を、河川の環境を保全しながら、計画的に進めていく必要があります。そのため、安倍川流域委員会の開催、住民意見交換会の開催などを通じて、学識経験者の方々、住民の方々の意見をお聞きしながら、安倍川の国管理区間で、今後概ね30年間に亘るべき河川事業をとりまとめた「安倍川水系河川整備計画」を策定しました(平成20年3月27日)。

この安倍川水系河川整備計画に基づき、地域の安全・安心のため、河川の環境の保全のため、河川事業を進めてまいります。

### 河川整備計画の基本理念

「洪水及び多量の土砂に対して安全性を確保し、河川環境や景観を保全し、地域とふれあう川づくり」

### 河川整備の対象期間

河川整備計画では、その対象期間は概ね30年とします。

### 対象区間

河川整備の対象区間は、下図に示す区間です。



### 河川整備の目標

洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標。

観測史上最大流量を記録した昭和54年10月洪水と同規模の流量を安全に流す堤防等の整備を行うとともに、高潮や東海地震・津波に対しても安全な施設の対策を行います。また堤防等で守りきれない洪水が来た場合でも被害が軽減できるよう、二線道の活用や情報提供などの危機管理対策を行います。

急流土砂河川であるため、海岸の保全を考慮した河道掘削や強固な護岸等の整備を基めます。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

安倍川の水環境が適正な状況になるように取り組むとともに、河川水とともに静岡市の発展や生活に欠かせない地下水について健全な水循環の構築を行うため関係機関や地域住民と連携しながら取り組みます。

河川環境の整備と保全に関する目標

河川の自然環境を生かし豊かなふれあい空間として河川の適正な利用を図ります。

河床や植生の変動性が非常に大きい急流土砂河川としての特性を踏まえ、動植物の生息・生育環境、特徴的な景観の維持や、清流安倍川としてふさわしい良好な水質の保全・改善を図ります。







# 整備計画の概要

## 水環境を改善する取り組みを行います。

### 現状と課題

河水時には「水切れ」が発生するほど水量が減少  
高度化時には安倍川入浴所より上流において  
水切れが発生しています。



水切れしている状況(平成7年頃)

地下水を含めた水循環的視点  
に立った河川管理が必要

静岡市では、安倍川の河川水と地  
下水の重要性が水源となっており、



静岡市(静岡地区)の  
水循環的視点からの水循環的  
水循環的視点からの水循環的  
水循環的視点からの水循環的

安倍川の河川水と静岡平野の地下  
水に密接に接続しており、地下水を根  
拠に入れた管理が必要です。



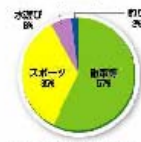
### 整備内容

- ①安倍川に必要な水量を解明し、その確保方策を検討していきます。
- ②河川水と地下水の水循環を解明していくとともに、健全な水循環系構築に  
向けた取り組みを関係機関や地域住民と一体となって推進していきます。

## 豊かな環境を守り、利用しやすい川にします。

### 現状と課題

安倍川の河川空間は身近に自然とふれあえる場、レクリエーションの場として貴重な空間  
安倍川は地域のこいの場として利用されています。



河川空間の活用状況(河川空間)



多様な植物の生育(安倍川 静岡区(河川))

### 整備内容

- ①河川空間の適正な利用
  - 人と人との出会い、人と川のふれあいの  
空間として適正に維持、健全に保ちま  
す。
  - 地域住民との協働により、河川空間を  
推進していきます。
- ②河川環境・景観の保全
  - 良好な自然環境や生物の生息場所の多  
様性を、関係機関とともに協力保全し  
ます。
  - 地域に親しまれ、特徴的な河川景観  
を保全していきます。
- ③河川水質の保全
  - 水質の監視及び改善を行います。
  - 水質事故発生時に、関係機関と連携し  
被害の拡大防止を図ります。
  - 住民との協働による水質改善を推進  
していきます。



市民との協働活動(河川空間) (河川)



安倍川「多様な植物の生育」



水質改善活動の様子

安倍川は多種多様な動植物の生育・生息場

安倍川は多種多様な動植物や、魚や水鳥の存在など、特徴的  
な河川環境を有しています。



安倍川に生育するツバメの巣



安倍川に生育した安倍川の特色な  
河川環境(河川)

全国でも有数の良好な安倍川の河川水質

安倍川は、総合治水計画による静岡市を流れているにもか  
かわらず、河川水質ランキングで全国 1位(平成24年度)に輝  
き、全国でも有数の清流です。

## 堤防などを適切に管理し、関係機関などと連携し洪水に適切に対処します。

- 河川巡視等により施設の異常等を把握し、適切な維持管理を行います。
- 二線堤、陸筒等の適正な維持管理を行います。
- 水位・雨量情報の提供、洪水予報の発表、洪水時の河川巡視、異音箇所の見回り、関係機関と連  
携して防災活動を行います。
- 浸水被害を最小限に抑えるため、住民の防災意識向上の取り組み、浸水想定区域図の作成及びハザ  
ードマップの作成の支援を行います。



河川巡視状況



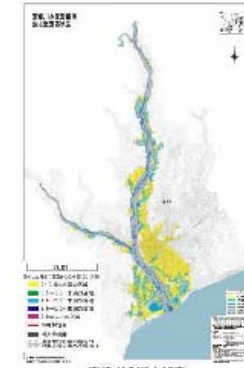
水門の開閉



安倍川水防堤防-都立型災害防衛施設(平成18年度)



上流二線堤と陸筒の位置図



安倍川の浸水状況

## 流出土砂対策に取り組みます。

### 現状と課題

昭和30年代から昭和40年代前半にかけて大量の土砂を安倍  
川から採取したため、海岸の砂浜が失われ、被災するようになりま  
した。

その後二砂採取を中止し、砂浜は復活はしていますが、安倍川  
の下流部は土砂が貯まり洪水が流れにくくなっています。



土砂の堆積により月床の幅さが上昇  
しています。(安倍川 土井5.0k付近)

### 整備内容

- ①洪水を流しやすく、海域に土砂を  
供給しやすい河道掘削等を検討  
・実施します。
- ②土砂生産・流出域、河道域、海岸域  
を含めて、総合的な土砂管理を  
行います。



清水海岸の被災状況



安倍川下流部の静岡海岸の被災回復状況



# 整備計画の概要

## 安倍川の川づくりの進め方

みなさんと一緒に川をよく見て、安全でより良い川づくり

### 関係機関、地域住民との協働・連携

- 河川環境保全モニター制度を活用するとともに、地域住民と一体となった川づくりを行います。
- 関係自治体と協力して地域の団体・ボランティアを積極的に支援するとともに、住民参加による河川清掃などを実施し、地域と一体となった川づくりを進めます。
- 川づくりの技術的課題を解決するため学識経験者等で構成された委員会を設置します。

### 地域住民の関心を高めるための広報活動

- 安倍川に関する情報を掲載したパンフレットや朗読本の作成、インターネットの利用、マスコミへの情報提供等により安倍川の情報発信をしていきます。

### 河川整備事業の推進

- 事業を進めるにあたっては、モニタリング及び評価、検証等を行い、計画・施工・維持管理にフィードバックするプロジェクトマネジメントを実施します。また、事業の内容と効果等を地域住民に情報提供することにより、地域住民と連携・協働した河川整備を推進します。

### 共助体制の再構築

- 昔ながらの地域コミュニティが衰退し、また、水防団員の高齢化・減少などにより、災害時の共助体制が脆弱になってきていることから、社会状況の変化を踏まえた共助体制の再構築に向けて、これを支援します。

### 地域特性に応じた事業の展開

- 汜濫域内の土地利用・住まい方の状況等を踏まえ、地域毎の必要性に応じた安全度等の確保を図るべく、事業を展開します。

国土交通省静岡河川事務所のホームページで、安倍川水系河川整備計画を見ることができます。

国土交通省静岡河川事務所のホームページは、以下のアドレスです。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/>

- 安倍川水系河川整備計画を見るには、**ここ**をクリックしてください。

お問い合わせ

国土交通省中部地方整備局 静岡河川事務所  
〒420-0068 静岡市葵区田町3丁目108番地  
TEL (054)273-9100

静岡河川事務所 調査課  
〒420-0068 静岡市葵区田町3丁目108番地  
TEL (054)273-9104  
mail river08@ily.ocn.ne.jp

